

DEWA SHONAI

出羽庄内国際村

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM



「みんな、良く聞いて」。フィル先生の一言一言に、みんな真剣なまなざしです。小学生から中学生を対象にした「キッズ英会話」。子供たちは7月まで楽しみながら英語を学びます。



特集 ニューカレドニアを中心とした南太平洋展

ハロー出羽庄内「クリス・フレテル」さん

国際交流団体紹介「中国倶楽部」

平成12年度事業



アマゾン民族館

開館時間 9:00 ~ 17:00

第2・4土曜日は、小・中学生入館無料!

ニューカレドニアを中心とした
南太平洋展

好評開催中

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 22

Quarterly

特別企画展示 を中心とした オープン H12.3.12

アマゾン民族館特別企画展「新たなテーマを掲げ、オープンいたしました。」
 今年は、鶴岡市とラフォア市の、友好都市盟約締結五周年をむかえる記念すべき年にあたるため、『ニューカレドニアを中心とした南太平洋展』の企画・開催のはこびとなりました。
 三月十二日に行なわれたオープニングセレモニーには、遠く離れたラフォア市より三名のゲストの方にお越しいただきました。市民の皆さん始め、関係者あわせて約百五十人の方々が賑わいました。

CLOSE UP

ひとくちに南太平洋といっても、地図で紹介した通り、とても範囲が広い。そこで今回は、メラネシアにあるニューカレドニアのあれこれを紹介しよう！

ニューカレドニアは、フランスの海外領土となっている。

本島であるグランドテール島とロワイヨテ諸島からなっていて、日本の四国位の面積に等しい。

このニューカレドニアという呼び名は、1774年、キャプテン・クックがこの島を訪れた時、スコットラ

ンド出身のクックは、この島の山並を見て故郷カレドニア（スコットランドの旧名）の高原を思い描いて付けたといわれる。

白い砂浜とエメラルドグリーンの海、いろとりどりの熱帯魚…。まさしく『天国に一番近い島』である。



南太平洋ってどこ??



ニューカレドニアをはじめとする南太平洋の島々は、地形や気候、文化等の違いから、メラネシア・ポリネシア・ミクロネシアに分けられる。ニューカレドニアやニュージーランド、ニューギニアを除くと、数千にもなる島々からなっている。

南太平洋 オープニングセレモニー



ラフォア・鶴岡友好協会会長フィリップロンバルデさん

「ニューカレドニアを中心とした南太平洋展」のオープニングセレモニーが、三月十二日に開催されました。

この特別展示は鶴岡市とラフォア市の友好都市盟約締結五周年を記念したもので、セレモニーには、ラフォア市からラフォア市第一助役のジャンポール・ポアウイ氏、ラフォア市議会議員のアド・デバル氏、ラフォア・鶴岡友好協会会長のフィリップ・ロンバルデ氏の三名も参加されました。

あいさつの席上、フィリップ・ロンバルデ氏より、ニューカレドニアのカナック族の

男性像が鶴岡市に贈られました。この人形は通常男女ペアで飾られるもので、先に贈られた女性像と共に、鶴岡市の人々がこれらを携えて、またラフォア市にいらしてください、そしてその交流が未長く続いていきますように、という願いが込められています。これまでラフォア市に訪問した小・中学生や多くの市民が見守るなか、テープカットが行われ、山口館長から資料についての説明が行われました。

参加者は、豊かな自然に囲まれた南太平洋に思いを馳せながら展示に見入っていました。



カナック族（先住民）男性・女性像

遠洋航海の歴史

南太平洋の先住民の航海には、気象や海の状態、海鳥等の動きが利用され、雲の存在と形とによって島があることを、水平線よりも遙か遠い位置から予測できた。

また、彼らは昼間は太陽、夜は北極星や南十字星を利用し、島と島との位置関係は木の枝式海図を使っていた。解読方法は酋長だけが知っていた。

南太平洋の人々

今から3500年前頃オーストロネシア語を話すモンゴロイド系の人々が、メラネシアを通過してポリネシアまで達した。彼らは農耕民で、熱帯アジアに起源するタロイモ、バナナ等の作物やブタ、イヌ、ニワトリ等の家畜をたずさえて船出し、南太平洋一帯に分布させた。



また彼らは独特の土器も作っていた。それは細かい櫛の歯のような道具で、幾何学模様が施されている。この土器は、ニューカレドニア本島北部のラピタ遺跡にちなんで「ラピタ土器」と呼ばれ、その作り手であるモンゴロイド集団をラピタ集団と呼んでいる。彼らは以前から住んでいたオーストロイド集団と混血して、黒い肌に縮れた黒髪のメラネシア人が生まれた。

アマゾン民族館 ニューカレドニア 南太平洋展

ニューカレドニアの自然と生物

本島のグランド・テール島は、1,500m級の山々が連なり島を東西に分けている。山は豊かな植物に覆われ、ニューカレドニア特有のランも自生している。東海岸は雨が多く、熱帯植物群が谷深く生き茂っている。カオリの木はアカシアの一種で、高さは40mもある。

西海岸は草原や丘陵地帯で、白樺に似たニアウリの林が見られる。

森に棲む国鳥カゲーは、ニューカレドニア特有の飛べない鳥で、木彫として民族館に展示されている。



国鳥カゲー

また、ニューカレドニアカラスは道具を使う頭の良い鳥として有名である。

美しい珊瑚礁の海には、色とりどりの熱帯魚が泳ぎ回っている。



○アマゾン先生からのお知らせ

今年度も第2・4土曜日は
小・中学生無料

みんな、
来てね!



入館料

	個人	団体 (20名以上)
大人	500円	450円
高校・大学生 (高専・専門学校含)	300円	270円
小・中学生	200円	180円

幼児は無料

開館時間

9:00~17:00

休館日

毎月第3月曜日
(祝日の場合は、その翌日)
12月29日~1月3日
2月15日~2月28日

ラフォア市との交流のあゆみ

フランス領ニューカレドニアのラフォア市のフィリップ・ゴメス市長が平成2年に来鶴して、本市の自然や温かい市民性に触れて以来、ラフォア市と本市との間には地道な相互交流が積み重ねられ、平成7年2月に友好都市盟約を締結しました。今年は盟約5周年にあたります。

なかでも、小・中学校の相互交流が盛んで、平成3年にはラフォア中学の生徒が、翌4年にはラフォア小学校の児童が本市を訪れました。また、本市からも平成5年に小・中学生の訪問団がラフォア市を訪れ、親善交流と友情を深めています。

お互いの豊かな自然と文化、温かな市民性は両市の友情と信頼を育み、平成4年には民間の友好促進団体「鶴岡・ラフォア友好協会」が設立されました。こうして、本市とラフォア市の交流の輪は市民の間に大きな広がりを見せています。

今回の「ハロー出羽庄内」では、アメリカから鶴岡にいらしているクリス・フレテルさんにインタビューしました。フレテルさんは文部省のJETプログラムに参加し、現在は鶴岡工業高等学校のALT（英語指導助手）として活躍されています。

こんにちは。アメリカのコネチカット州から来たクリス・フレテルです。私の住んでいた街はニューヨークから車で一時間三分くらいのあるところにある、鶴岡市よりも小さい街です。もともと農業が盛んなところで、今も牛が沢山います。

私は一九九九年七月十七日に来日しました。最初は初めての来日でしたが、私の両親は新婚旅行で東京と京都に来たことがあります。その頃日本に行くのは珍しかったのですが、母がフライトアテンダントだったので、パッケージツアーに参加できたのです。

アメリカで大学を卒業してからすぐここに来ました。大学ではアジア哲学を専攻していて、仏教や儒教を学びました。その時の先生が日本に三年ほど住んだことがあって、日本人と結婚



ハロー出羽庄内

庄内在住の外国人の方々を紹介します

したのですが、彼が私に日本の文部省のJETプログラムを紹介してくれました。

教えることは楽しいです。でも生徒の多くはあまり英語を勉強することに興味がないようです。みんなは授業中は話をしませんし質問にも答えません。とても恥ずかしがり屋です。でも授業が終わるとみんな私と話したりしますし、少しは英語も使います。授業の時はまるで別の人のようです。どうしてでしょうね？日本とアメリカの高

校生とでは、振る舞いが全然違っています。私が高校生だったころは、少しでも女子生徒と一緒にいたかったのに（笑）。日本の高校生では男女はいつも別々に過ごしていますし、あまり話もしません。私の高校では学校であまり生徒がキスをするので問題でしたけど。

私の趣味は自転車に乗ることなんです。今年も自転車で行くと佐渡ヶ島に行こうと思っています。ショートスキーも好きで、去年の冬には職場の先生方と蔵



ふれていきますので、私もその中に加わろうと思っています。最後に、いつも日本語を教えてください。またいい友人でもある真島さんにお礼を言いたいと思います。本当に感謝しています。

王や長野県の白馬にも行きました。それから、羽黒太鼓もやっています。特別な衣裳をきて、子供たちと一緒に発表したりもしています。今はお休みしていますが、四月からまた習いに行きたいと思っています。

二 一年の夏にはこのJETプログラムを終えてアメリカに帰る予定です。その後は法律学校に通おうかと今は思っています。私の父も弁護士で私を頑張らせようとしています。ご存じの様にアメリカは弁護士であ

国際村で外国語を楽しく学ぼう

出羽庄内国際村では、各種語学講座を開催しています。各講座は、単に語学を学ぶだけでなく、その国の文化なども併せて紹介し、より親しみやすいものとなっています。体験受講も随時受け付けています。

英語講座

講師 フィリップ・ロバーソン（財団国際交流員）

キッズ英会話 / 毎週金曜日	午後5時～6時
やさしい旅行会話 / 第1週以外の金曜日	午後7時～8時15分
イングリッシュ スルー / 1. 毎週火曜日	午後2時～3時15分
アメリカン ムービーズ / 2. 毎週火曜日	午後7時～8時15分
かんばせーしょん喫茶店 / 毎週金曜日	午後2時～3時30分

ロシア語講座

講師 ユフェロバ・ポリーナ（山形県国際交流員）

一般コース / 毎週水曜日	午後6時30分～8時
---------------	------------

フランス語講座

講師 チャール・カサバン

一般コース / 毎週火曜日	午後6時30分～8時
---------------	------------

中国語講座

講師 齊 慧艶（財団国際交流員）

はじめての中国語 / 毎週土曜日	午前10時～11時30分
初級コース / 毎週木曜日	午後6時30分～8時
中級コース / 毎週水曜日	午後6時30分～8時
会話教室 / 毎週土曜日	午後2時～3時30分

ハンゲル講座

講師 板垣 玉美

一般コース / 毎週金曜日	午後6時30分～8時
---------------	------------



フレンドシップサロン

ご好評につき毎月第一金曜日に開催中のフレンドシップサロン!!平成十一年度はテーマを「外国」として、ロシア 中国

アメリカ ニューゼaland アメリカ・コロラド州 ヨルダン ガーナ スリランカ、七カ国を八回に渡り開催してきました。一年を通じて、沢山の方々にご参加いただき本当にありがとうございました。

今回は、二月のガーナ、三月のスリランカについてご紹介します。

さて、二 年最初のフレンドシップサロンは二月のガー

ナ編にて幕を開けました。

講師にお招きしたのは、山形大学の留学生 ジェームズ・W・ドゥーさん(一家)。「ガーナへの誘い」をテーマに笑いあり、感動ありの興味深いお話とジェームズさんが用意してくれたパソコンから映し出される映像に、時間の経つのも忘れて参加者全員集中中…。

アフリカというとサファリーツアーの人達でにぎわいを見ているようですが、ガーナはチョコレートにも象徴されるようにカカオ豆を作ったり、たまねぎを作ったりと農業がおもな産業になっています。

また、教育熱心だったりするところは、日本(庄内)とよく似ています。

ただ、水の問題は非常に深刻で想像を越えるものが…。こんなふうに、知っているつもりでも、新しい発見がたくさんあります。今からでも遅くはありません。是非ご参加を!



ガーナ編



スリランカ編

十一年度の最後を飾ってくれたのは、三月に岩手大学大学院連合農学研究所を卒業されたモハメド イスマル モハメッド モジュードさんで、「世界で一番美しい国スリランカ」をテーマにご家族で参加していただきました。スリランカといえばセイロンティー!よい香りと味、興味深いお話を楽しみました。

スリランカは一九七二年にイギリスから独立し、セイロンから国名が変わり、宗教(仏教・ヒンズー教・イスラム教)によつて言葉も違うとのこと。大学では、授業は全部英語が使われるそうです。教育者は神の次で、父母のこともとても大事にするところは、昔の日本と共通していました。今までの固定観念がことごとく破られるのがフレサロのいいところ。百聞は一見に如かずといいますが、スリランカは日本から九時間、二月頃は往復七万円位で行けるそうです。旅したいですね!

新年度からは、新しいテーマで気持ちも新たに開催したいと思っておりますので、お楽しみに! 次回は六月を予定しております。

食を通して世界を知ろう

ワールドクッキング 好評開催中

毎回大好評のワールドクッキング、2月にはロシア編が開催されました。5種類のメニューの中から今回はボリュームたっぷりの「キエフカツレツ」の作り方ををご紹介します。



材料5人分

鶏胸肉 2½を2卵2~3個、パン粉5カップ、小麦粉5カップ、塩、こしょう、ガーリックパウダー、コンソメパウダー各適量、バター100g、サラダ油適量、付け合わせ:キャベツ、トマト、ポテトなど

作り方

鶏肉は皮をとって包丁で筋を切るように叩き、両面とも塩、こしょう、ガーリックパウダーをすりこむ。

内側にコンソメを少しふって、平らに広げた上にバター½を置き、端からバターを包み込みながら巻く。

を冷蔵庫で冷やしている間に、付け合わせの用意をする。

冷蔵庫から出した鶏肉は、フライの要領で小麦粉、卵、パン粉とつけていき、さらにもう一度、小麦粉から繰り返す。

油は160度の低めで、ゆっくりキツネ色になるまで揚げてできあがり。

キエフとはロシアにある都市の名前です。カツレツを切った時に熱いバターが出てきますので、気をつけて食べましょう。





お日本

ドーン！羽黒太鼓の勇壮な響きで始まった「日本のお正月」は、今回で六回目。庄内在住の外国人と地元の子供たちが、一緒に正月行事や遊びを楽しもうという企画です。

太鼓の演奏体験では、留学生らがホラガイに挑戦！なかなか出ない音に首をかき上げる姿も…。昔ながらの道具でのもちつきは、かけ声に合わせてペタンペタン！おいしく出来上がり、あんど、雑煮、納豆、きな

粉、チーズ海苔の味でいただきました。

お琴・尺八の演奏を優雅に聞いた後、茶道コーナーで和菓子と抹茶を味わい、生け花、書き初め、こま回し、紙芝居、郷土かるた等コーナーごとに体験し、大人もまるで子供に戻ったように楽しんでいました。

最後にみんなで、二千枚せんべい釣り大会を行い、釣れた数の多い順に賞品もあり、参加者は大喜びでした。

正

二月六日、中国のお正月行事が行なわれました。中国では旧暦の一月一日を「春節」といい、みんなで新春を喜びあいます。この日は中国のお正月のテレビ番組や、中国でも大人気だった映画「スパイシー・ラブストーリー」の上映会がありました。中国雑技の公演も行われ、黄娥さんのすばらしい演技にみなさん大喜びでした。ホワイエでは中国の切手の展示やお茶のサービスも行われ、お正

中国月



お正月、一日でこんなに楽しめる行事は滅多にありませんよ！

月の楽しい雰囲気を感じ上げていました。また、中国からの留学生を講師に迎えて、餃子作り講習会も開かれました。中国では餃子を主食としていて、それぞれの家庭の味があるそうです。皮から作る本格的な作り方で、白菜やエビを使ったおいしい餃子ができあがりしました。



国際村を会場に

「こんな行事も行われました」

断食明けを祝う ラマダン祭



イスラム教の断食の月「ラマダン」が明けた事を祝う、ラマダン祭が、一月八日国際村のホールを会場に開催されました。ラマダンというのはイスラム暦の九番目の月。イスラム教徒は神への服従を表すため新月から次の新月まで、日の出から日の入りの間は食べ物を口にしません。今年も十二月九日に始まって、一月八日に明けました。この断食明けを祝うラマダン祭は、イスラム教徒にとっては最も重要なお祭りのひとつで、庄内在住のイスラム教徒のみならず、実行委員会形式で企画し、友

人らを招いて公開で行われました。

当日は約八十人が参加。手作りの料理で会食しながら、子供たちのアラビア語での歌やゲームを楽しみました。

世界各地の写真を展示 「地平線発」

一月二十三日から三十日まで「地平線発」二十一世紀の旅人達へ」と題した写真展が国際村を会場に開催されました。

この写真展は、世界各地を訪れている冒険家や旅行家のネットワーク「地平線会議」が企画したもの。世界七十以上の国と地域で撮影された約二百点の写真が展示されました。

また、二十九日には「地平線報告会」として、朝日村在住の鷹匠、松原英俊さんとアマゾン民族館の山口吉彦館長の講演を行い、それに引き続いて地平線会議のメンバー七人によるリレートークが行われました。

写真展に訪れた人々は、世界の様々な情景に思いを馳せていました。

中国倶楽部

～中国映画を楽しみ、中国の音楽や料理などの文化に触れてみませんか～

会員数：現在35人（内中国の方は6人）
 随時会員募集中、熱烈歓迎！ 活動内容：中国語圏の映画上映 定例会：毎月1回 会費：日本人3,000円、中国人1,500円 連絡先：中国倶楽部代表、坂東清一さん（24-7675）へ。



平成11年度のワールドバザールでは、中国将棋、中国茶などで、中国文化を紹介しました。

「中国語の語学講座や催しはたくさんあったんです。でも、もっと気軽に楽しく語り合えるような会が欲しかったんですよ。それに、当時、中国映画も高く評価されていたんですが、なかなか地元では観る機会がなくて、中国倶楽部発足のきっかけを話してくれたのは、中国倶楽部代表の坂東清一さん。
 平成九年に中央公民館で、中国映画《項羽と劉邦》を上映した時に「中国映画を定期的に観る会を創らないか」と観客に呼び掛け、集まった十数名で発足しました。発会以来、中国圏の映画を月一回の割合で自主上映



映画だけでなく「ギョウザと白菜なべ」の会で交流しています。

したり、ギョウザと白菜なべの会などで交流したりして毎月活発に活動しています。会員は現在三十五名ですが、若い男性が少ないのが残念とのこと。
 「これからは、映画だけでなく中国ごまなどの中国雑技や楽器、歌なども習いたいですね。今年は、秋頃に全国的にも話題になった《宋家の三姉妹》を上映したいと考えています。ぜひ皆さんから観ていただいて、中国映画や中国という国に興味を持ってもらえればうれしいですね」と話してくれました。

第6回 出羽庄内国際村ワールドバザール

出羽庄内国際村オープン6周年を記念し、国際村に集う国際交流団体の連携と交流を推進し、また、地域の国際交流の輪を広げるため、楽しいイベント盛り沢山のワールドバザールを今年も開催します。

- 日時 6月11日(日) 午前10時～午後3時
- 会場 出羽庄内国際村
- 内容 民族舞踊・中国雑技・大道芸パフォーマンス・民族料理の模擬店・フリーマーケット・国際交流団体紹介コーナー 他
- 入場料 無料

各種販売とアマゾン民族館は有料となります。

みんな国際村に遊びに来てね!!



今年も楽しさ
いっぱいです

平成12年度事業

印は出羽庄内国際村が共催・後援する事業です

6月

- ワールドバザール～国際村であいましょう～
- フレンドシップサロン
- ワールドクッキング
国際教育者プログラム



7月

- フレンドシップサロン
- ワールドクッキング
出羽庄内国際サマーフェスティバル

8月

- フレンドシップサロン
- ワールドクッキング
- アマゾン子供フェスティバル

9月

- フレンドシップサロン
- ワールドクッキング



10月

- フレンドシップサロン
- ワールドクッキング
ラフォア市（ニューカレドニア）訪問団歓迎会
- 出羽庄内国際村祭「ハロウィン」

11月

- フレンドシップサロン
- ワールドクッキング
- 外務省国際化セミナー



12月

- フレンドシップサロン
- ワールドクッキング
- 出羽庄内国際村祭「クリスマス」

1月

- フレンドシップサロン
- 出羽庄内国際村祭「日本のお正月」

2月

- フレンドシップサロン
- ワールドクッキング
- 出羽庄内国際村祭「中国のお正月」

3月

- フレンドシップサロン
- ワールドクッキング

あとがき

樹々の緑が一段と深くなり、躍動の時を迎えましたが、財団会報22号をお届けします。

今年は、鶴岡市とラフォア市の友好都市盟約5周年を記念し、特別展示「ニューカレドニアを中心とした南太平洋展」を開催中のため、特集したほか、今年度当財団の主な事業をのせましたが、特に小中学校への国際理解出前講座を行ないますので、是非ご活用ください。

また、庄内地域には、多くの国際交流団体がありますが、今回、中国倶楽部を紹介しました。

年々盛んになる国際交流に適切に対応するためには、行政と民間との連携が不可欠ですが、4月から鶴岡市に国際室が設置され、国際村で仕事しています。ご意見などお寄せ下さい。

一緒に日本語を学びませんか

国際村では日本語教室を2クラス開設しています。

- 毎週日曜日
午後2時～午後4時
- 毎週火曜日
午後6時30分～8時

詳しくは国際村までお問い合わせください。

あなたも賛助会員に!

財団の活動主旨に賛同され、事業運営にご支援いただける会員を募集しています。

- 年会費：一般 3,000円
- 高校、大学生 2,000円
- 小、中学生 1,000円
- 法人1口 10,000円(何口でも結構です)

期 日：平成13年3月31日まで

会員の方には、財団機関誌等の送付、アマゾン民族館の無料入館、語学講座受講料の割引などの特典もあります。